（別紙様式4）

令和8年10月31日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
専門学校アリス学園	平成4年1月20日	竹澤　勝志	〒　921－8176 （住所）　石川県金沢市円光寺本町8－50 （電話）　076－280－1001
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人アリス国際学園	平成4年1月20日	竹澤　敦子	〒　921－8176 （住所）　石川県金沢市円光寺本町8－50 （電話）　076－280－1001

分野	認定課程名	認定学科又は専攻科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
商業実務	商業実務専門課程	国際ビジネス学科	令和 2(2020)年度	－	令和 5(2023)年度

学科又は専攻科の目的	専門的なビジネススキルの習得を通じ、社会人としての総合的な能力と実務知識、幅広い教養を身につけた人材を育成する。
学科又は専攻科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	サービス接遇検定・ホテル実務検定（H検）・グローバル人材ビジネス実務検定（G検）・食品衛生責任者・金沢検定

修業年限	昼夜の別	全課程の修了に必要な総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	単位	80 単位	24 単位	0 単位	0 単位	0 単位

学生総定員	学生実員(A)	留学生数(学生実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)	中退率
80 人	78 人	77 人	99%	3 %

就職等の状況

■卒業者数（C）	39	人
■就職希望者数（D）	36	人
■就職者数(E)	29	人
■地元就職者数（F）	22	人
■就職率（E/D）	81	%
■就職者に占める地元就職者の割合（F/E）	76	%
■卒業者に占める就職者の割合（E/C）	74	%
■進学者数	3	人

■その他

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

（株）松商,IAC,KKRホテル金沢,KOKOHOTEL,アルコット,ガイドラ株式会社,ゲンキー,ニューグランドホテル,ハイアットセントリック金沢,ヒューマンテーブル,ホテル金沢,ホテル日航金沢,ワシントンホテル,株式会社JHAT,関西国際空港株式会社セノン,天とてん,物語コーポレーション

当該学科又は専攻科のホームページURL	https://gakuen.alice-japan.net/courses/business

企業等と連携した実習等の実施状況（A、Bいずれかに記入）

総単位数	104 単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した演習の単位数	12 単位
うち必修単位数	80 単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位
（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	12 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	0 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	1 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	2 人
計		3 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	3 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

〇教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携

（1）教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針及び教育課程編成委員会等の位置付け

a.教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。	している
開催日時実績	第1回　令和7年12月16日　11:00～12:20/第2回　令和8年3月4日　10:00～11:30
b.教育課程編成委員会に、以下①～③の類型に該当する企業等委員が参加しているか。 ※①から③において、①又は②から1人、③から1人が委員として参画している場合、「している」を選択。 ※①又は②から1人、③から1人が委員として参画していない場合、「していない」を選択。	している
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）	
②学会や学術機関等の有識者	
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員	
c.学校の教育課程編成の責任者が委員参加しているか。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.教育課程編成委員会の議事を記録し、学内回覧等しているか。	している
f.企業等委員の意見を教育課程編成見直しに反映しているか。	している
g.次の教育課程編成委員会に、教育課程編成の見直し結果等を報告しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年3月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
竹澤　勝志	専門学校アリス学園　学校長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－
藤橋　由希子	株式会社フジ観光開発	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	①
吉田　岳雄	吉田岳雄行政書士事務所	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
森岡　晋也	株式会社森八　副社長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	③
道上　陽介	専門学校アリス学園　教頭	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針及び実習・演習等における企業等との連携内容

a.実習等又は演習の形態の授業で企業等連携を行っているか。	している
b.企業等と連携を行う際は、企業等との組織的な協定や契約を締結しているか。	している
c.企業等との連携内容を、連携先企業等との文書等で明示的に合意しているか（連携のマニュアル、手引き等定めているか）。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.企業等の講師に対して事前打ち合わせや研修を行っているか。	している
f.企業等連携の実習・演習等の内容を学校側は適切に確認しているか（教員の見回り実施、実習日誌の作成等）。	している
g.企業等連携の実習・演習等における成績評価について、企業等と協議を行っているか。	している
h.適切な企業等連携の実習・演習となるよう、必要に応じて連携先企業等を見直しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科目概要	連　携　企　業　等
インターンシップⅠ	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	学校での基礎教育、事前教育を経て企業担当者の指導の下、仕事に対する姿勢、接客基本動作の習得、仕事を覚え実践することを主眼に8週間実施。各自で実習期間中の目標設定を行い、実習終了後は評価や総評等を記載した実習評価表や勤務時間記録表等をもとに、所定の単位を認定する。	ホテル日航金沢、㈱天とてん、KKRホテル金沢、ホテル金沢、㈱アーバンクリエイツ、金沢ニューグランドホテル、㈱森八、㈱金沢東急ホテル、㈱アルバ、㈱つるやホテル、㈱金沢国際ホテル、ソラーレホテルズザ・スクエアホテル、ANAクラウンプラザホテル神戸、金沢　六角堂、焼肉　蔵、㈱エイジェーインタイブリッジ、ANAクラウンプラザホテル金沢、ホテル・トリフィート金沢、ホテルアローレ、雨庵　金沢、㈱エー・オー・シー、㈱LEOC
インターンシップⅡ	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	インターンシップとして総まとめ、応用教育として位置づけて実施。最後の実習として就職を意識した取り組みが大切であることは勿論、担当業務を行いながら会社全体の動き、組織体制、ﾏﾈｰｼﾞｬｰ等の管理職の役割や言動、ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟのあり方、企業で働く心得、各部門の業務内容や特性などを学ぶ。実習終了後は所定の単位を認定する。	ホテル日航金沢、㈱天とてん、KKRホテル金沢、ホテル金沢、㈱アーバンクリエイツ、金沢ニューグランドホテル、㈱森八、㈱金沢東急ホテル、㈱アルバ、㈱つるやホテル、㈱金沢国際ホテル、ソラーレホテルズザ・スクエアホテル、ANAクラウンプラザホテル神戸、金沢　六角堂、焼肉　蔵、㈱エイジェーインタイブリッジ、ANAクラウンプラザホテル金沢、ホテル・トリフィート金沢、ホテルアローレ、雨庵　金沢、㈱エー・オー・シー、㈱LEOC

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）認定専門課程等の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門学校アリス学園教職員研修規程に基づき、研修は教職員に係る業務の遂行に必要な知識、技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等を向上させることを目的とし、学校長は勤務を通じての研修と勤務を離れての研修の実施を行わせるものとしている。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	大学等と企業との就職に関する情報交換会	連携企業等：	金沢雇用推進協議会
期間：	令和7年10月20日	対象：	専任教員
内容	各企業・各業界の状況及びニーズの理解、情報交換等		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	合同職員研修会	連携企業等：	
期間：	令和7年9月19日	対象：	専任教員・非常勤講師
内容	前期授業の振り返り（授業評価アンケートを見て）、教員配置について、2025年度事業計画経過報告、後期の時間割・授業予定・行事予定について、各担当授業について		

研修名：	合同職員研修会	連携企業等：	
期間：	令和8年3月17日	対象：	専任教員・非常勤講師
内容	後期授業の振り返り（授業評価アンケートを見て）、教員配置について、2026年度事業計画報告、2026年度の時間割・授業予定・行事予定について・各担当授業について		

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	大学等と企業との就職に関する情報交換会	連携企業等：	金沢雇用推進協議会
期間：	令和8年10月	対象：	専任教員
内容	各企業・各業界の状況及びニーズの理解、情報交換等		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	合同職員研修会	連携企業等：	
期間：	令和8年9月，令和9年3月	対象：	専任教員・非常勤講師
内容	指導力の習得・向上を目的に授業評価、教員の自己評価、ICTの活用についての共有等を実施		

4.「当該専門課程等を置く専修学校において、学校教育法第百三十二条の二第二項の規定により評価を受け、その結果を公表していること。」関係

○学校関係者評価

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	
(1)教育理念・目的・目標	
1　教育理念、目的及び目標の設定等	
①教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	同内容評価項目を設けている
(2)学校運営	
1　教育課程の編成と授業科目	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成したうえで、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	同内容評価項目を設けている
2　教育の実施	
①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位数の総授業単位数に占める割合を具体的に設定していること。	同内容評価項目を設けている
3　単位・卒業認定	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針(資格・免許等を含む習得させる職業能力を含む)を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	同内容評価項目を設けている
4　学修成果目標の達成状況	
①卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得(資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得を含む。)についての目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
(3)学生の受入れ、学生支援	
1　学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	
①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	同内容評価項目を設けている
2　自主的な学習の促進に対する支援	
①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　多様な学生に対する支援	
①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
4　学生生活に関する支援	
①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	同内容評価項目を設けている
②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	同内容評価項目を設けている
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。　※簡易評価項目	同内容評価項目を設けている
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。※任意項目	同内容評価項目を設けている
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	同内容評価項目を設けている

(4)教育実施組織・教員	
1　教員の配置、募集、採用	
①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用していること。	同内容評価項目を設けている
②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　教員の組織編制等	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	同内容評価項目を設けている
②教員間で連携、協力体制を構築していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　教員の資質の向上	
①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
(5)教育環境	
1　教育環境の整備	
①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	同内容評価項目を設けている
②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けていない
2　安全対策、防災組織	
①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	同内容評価項目を設けている
②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　施設・設備等の点検、改善等	
①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。※任意項	同内容評価項目を設けている
②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。※任意項目	同内容評価項目を設けていない
(6)教育活動の基盤と改善・向上の取組	
1　中期事業計画と財務基盤	
①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	同内容評価項目を設けている
2　学校運営	
①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること(職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む。)。	同内容評価項目を設けている
3　学校評価の実施と改善活動	
①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	同内容評価項目を設けている
③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	同内容評価項目を設けている
④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
4　社会からの理解と情報の公表	
①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	同内容評価項目を設けている
②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている

（3）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和8年3月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
藤橋　由希子	一般社団法人全日本ホテル連盟理事（中部支部長）、株式会社フジ観光開発常務取締役	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
吉田　岳雄	吉田岳雄行政書士事務所	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
中野　朋和	医療法人社団仁智会　総務部部長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
寺西　由美子	アリス・スタッフ株式会社代表取締役社長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	企業等委員
藪内　雅也	専門学校アリス学園同窓会会長	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	卒業生
山下　一夫	学校法人藤花学園金沢龍谷高等学校長、石川県私立学校審議会委員	令和8年4月1日～令和9年3月31日（1年）	高等学校長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://gakuen.alice-japan.net/		
公表時期	令和8年6月30日		

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）情報提供

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://gakuen.alice-japan.net/		
公表時期	令和8年6月30日		

授業科目等の概要

	（商業実務専門課程 国際ビジネス学科）														
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			キャリアスタディ	自分の人生の目標を考え、日本企業が求める人物像やビジネスマナーについて学ぶ	1前	2	○			○			○	
2	○			ホテル概論Ⅰ	ホテル業・旅館業（宿泊業）の概要を学ぶことで「HOTEL」の語源や創始者、歴史を知る 外側を知ることで、ホテルという仕事に興味を持ち進路の確立	1前	2	○			○		○		
3	○			観光論Ⅰ	観光概論の理解とデータから観光客の動向を読む 金沢観光体験と理解	1前	2	○			○	○		○	
4	○			ビジネス文書作成	日本のビジネスシーンを想定した題材を使い、書式設定や表作成、グラフィックの使用方法などを習得する。	1前	2	○			○			○	
5	○			情報処理	データコピー、計算、書式設定、グラフ作成についてテキストに沿った基礎学習を行い、各項目ごとに練習問題を実施。	1前	2	○			○			○	
6	○			異文化教育Ⅰ	異文化とどういうことなのかを自身や自国、日本以外の国との違いを学ぶことで日本での生活に活かせる知識を習得する。 食をベースとした日本の冠婚葬祭や年中行事を知ることにより、日本社会や日本人の考え方,文化を理解し、日本を通して他国の文化理解も図る。異文化の観点から将来の就業もみすえた知識や日常の生活に活かせる知識を習得する。	1前	2	○			○			○	
7	○			社会人スキルⅠ	ENAGEED CORE Vol１～４を通して下記の５つの力について学ぶ。 Vol.1~2 自己理解・自己管理能力、課題対応能力 Vol.3 人間関係形成能力、社会形成能力 Vol.4 キャリアプランニング能力	1前	2	○			○			○	
8	○			応用日本語Ⅰ	仕事の現場で使用される日本語を学び、確認すること、連絡、報告、相談ができるように実践練習を行う。	1前	2	○			○		○		
9	○			外国語検定対策Ⅰ	JLPTの練習問題、模擬試験を通して、苦手分野の強化を行う。 就職活動や職業現場において求められる英語力の指標であるTOEIC Listening & Reading Testのスコア向上を目的とする。対象は日本語能力N2以上（担任の推薦を必要とする）の留学生とし、既有の日本語力を活かしながら、英語の理解力および実践的運用能力の向上を図る。	1前	4	○			○		○	○	
10	○			キャリアデザイン	前期のキャリアスタディで行なったキャリアビジョン、プランの明確化、自己分析をもとに就職活動で必要な自己PR、学生時代に力を入れたこと、志望動機を作成し、面接やインターンシップで実践できるようにする	1後	2	○			○			○	
11	○			サービス接遇研修Ⅱ	サービススタッフに必要なコミュニケーションマナーを身につけるために、サービス接遇検定問題を参考にしながら学習を進める。	1後	2	○			○			○	
12	○			情報資格対策	さまざまな関数を使用して、実務に即した表作成の練習を行う。	1後	2	○			○			○	
13	○			プレゼンテーション	表や図形、画像、グラフなどを適切にスライドへに落とし込みむことができ、視覚効果が表現できるスライド作成ができる。	1後	2	○			○			○	
14	○			異文化教育Ⅱ	異文化とどういうことなのかを自身や自国、日本以外の国との違いを学ぶことで日本での生活に活かせる知識を習得する。 食をベースとした日本の冠婚葬祭や年中行事を知ることにより、日本社会や日本人の考え方,文化を理解し、日本を通して他国の文化理解も図る。異文化の観点から将来の就業もみすえた知識や日常の生活に活かせる知識を習得する。	1後	2	○			○			○	
15	○			社会人スキルⅡ	ENAGEED CORE Vol.5～７を通して下記の能力について学ぶ。 Vol.５ 自己理解・自己管理能力 Vol. 6 キャリアプランニング能力 Vol. 7 人間関係形成能力・社会形成能力	1後	2	○			○			○	
16	○			応用日本語Ⅱ	インタビューの文章を読んで、そこで取り上げられている社会問題についてグループで考え、発表。文章や動画で考えをまとめる。	1後	2	○			○		○		

	（商業実務専門課程 国際ビジネス学科）															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
17	○			技能資格対策	特定技能資格試験対策（外食）の合格を目標に接客サービスと飲食物調理に焦点をあてて学習する。基礎知識として外食を受験しない生徒にも卒業後の就業に応用できる知識をつける。	1後	2	○			○		○		
18	○			外国語検定対策Ⅱ	JLPTの練習問題、模擬試験を通して、苦手分野の強化を行う。就職活動や職業現場において求められる英語力の指標であるTOEIC Listening & Reading Testのスコア向上を目的とする。対象は日本語能力N2以上（担任の推薦を必要とする）の留学生とし、既有の日本語力を活かしながら、英語の理解力および実践的運用能力の向上を図る。	1後	4	○			○		○	○	
19	○			リーダーシップ演習Ⅰ	アリス学園が主催または参加する公式行事において、クラスまたはグループでのチームワーク力を身に着ける。	1通年	1		○		○	○	○		
20	○			サービス外国語	テキストの学習項目を土台としながら、「臨機応変な対応力」と「顧客満足度を高める提案力」の向上を目指します。基本業務の枠を超え、顧客の好みや状況に合わせた提案（食事や観光など）や、複雑な苦情・トラブルに対する柔軟な交渉術を学びます。ロールプレイやディスカッションを多用し、現場で即戦力となる高度なホスピタリティ・スピーキングを磨きます。 ホテルやレストランなどのホスピタリティ業界で必要とされる「基本的かつ標準的な英語応対」を学びます。テキストに沿って、接客の現場で頻出する語彙と定型フレーズを確実に習得します。状況把握と反復演習を通じて、外国人顧客に対して失礼のない、正確で丁寧なコミュニケーションの基礎を築きます。	2前	2	○			○			○	
21	○			サービス接遇研修Ⅱ	サービススタッフとしての在り方について、「サービス接遇検定」の内容を中心に、実問題集で理論を理解し、実技で確実に身に付ける。	2前	4	○			○			○	
22	○			キャリア支援Ⅰ	インターンシップを通し、学生が実際の仕事内容や働き方、職業観などに触れることを通して視野を広げ、将来について考えを深めるられるよう、自ら進路選択や就職活動を進められるよう支援する。	2前	2	○			○			○	
23	○			外国語検定対策Ⅲ	JLPTの練習問題、模擬試験を通して、苦手分野の強化を行う。 就職活動や職業現場において求められる英語力の指標であるTOEIC Listening & Reading Testのスコア向上を目的とする。対象は日本語能力N2以上（担任の推薦を必要とする）の留学生とし、既有の日本語力を活かしながら、英語の理解力および実践的運用能力の向上を図る。	2前	3	○			○		○	○	
24	○			キャリア研究	自分を知る、他人を知る、社会を知る講義と演習を通して、仕事のキャリアと生活のキャリアを考える。	2後	1		○		○			○	
25	○			技能資格対策	特定技能資格試験対策（外食）の合格を目標に接客サービスと飲食物調理に焦点をあてて学習する。基礎知識として外食を受験しない生徒にも卒業後の就業に応用できる知識をつける。	2後	2	○			○		○		
26	○			キャリア支援Ⅱ	インターンシップを通し、学生が実際の仕事内容や働き方、職業観などに触れることを通して視野を広げ、将来について考えを深めるられるよう、自ら進路選択や就職活動を進められるよう支援する。	2後	2		○		○			○	
27	○			衛生管理	食品衛生対策やHACCPなど衛生管理について学ぶ。衛生管理計画を作成し、チェック項目を確認しながら調理実習を行う。	2後	2	○			○		○		
28	○			人材管理業務	企業担当者の講演から、日本の企業ではどのような人材が活躍し、どのような人材育成、キャリアパスがなされているかを学ぶ。	2後	2	○			○		○		
29	○			外国語検定対策Ⅳ	JLPTの練習問題、模擬試験を通して、苦手分野の強化を行う。就職活動や職業現場において求められる英語力の指標であるTOEIC Listening & Reading Testのスコア向上を目的とする。対象は日本語能力N2以上（担任の推薦を必要とする）の留学生とし、既有の日本語力を活かしながら、英語の理解力および実践的運用能力の向上を図る。	2後	3	○			○		○	○	
30	○			日本語教授法	『おもてなしの日本語』でサービスの現場での敬語を再確認し、後輩社員への教え方を練習し、実際に1年生の教室でサービスの現場で使用する敬語を教える。また、職場だけでなく日常生活で日本語が必要な場面で、日本語が苦手な外国人の支援の仕方と必要な日本語の教え方を学ぶ。	2後	4	○			○		○		

	（商業実務専門課程 国際ビジネス学科）															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
31	○			リーダーシップ演習Ⅱ	アリス学園が主催または参加する公式行事において、クラスまたはグループでのチームワークカを身に着ける。	2通年	1		○		○	○	○		
32		○		インターンシップⅠ	日本企業での実践的な経験から働き方を学ぶ。 日本企業の組織・業界について知識を深める。 自身のキャリア目標を明確にし、そのために必要な知識や技術を把握する。 常に自分の課題を考えながら取り組み、今日よりも明日がよくなるよう成長する。 インターンシップでの成果と課題、将来のキャリアを明確にする。	2後	8			○	○	○	○		○
33		○		インターンシップⅡ	日本企業での実践的な経験から働き方を学ぶ。 日本企業の組織・業界について知識を深める。 自身のキャリア目標を明確にし、そのために必要な知識や技術を把握する。 常に自分の課題を考えながら取り組み、今日よりも明日がよくなるよう成長する。 インターンシップでの成果と課題、将来のキャリアを明確にする。	2後	4		○		○	○	○		○
34		○		試験対策	サービス接遇試験、特定技能「宿泊」「外食」「飲食料品製造」に関してはテキストと講義を行い、模試の実施し試験合格を目指す	2後	6	○			○		○		
35		○		進学対策	大学進学者（編入者含）条件のJLPTをN2取得まで、JLPT対策模試を実施、編入に関する宇検資格を学生と実施	2後	4	○			○		○		
36		○		入試対策	大学及び大学院等への進学者に対し、希望進路先の試験対策及び面接対策等を実施	2後	2	○			○		○		
合計					37　科目		95　単位								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	卒業要件は、所定の修業年限以上在学し、履修科目より必修科目82単位、選択必修科目4単位、合計86単位を修得した者	1学年の学期区分	2 期
履修方法：	企業と連携して実施する「インターンシップ」は選択必修科目として配置しており、就職を希望する学生は必ず履修することとしている	1学期の授業期間	18 週